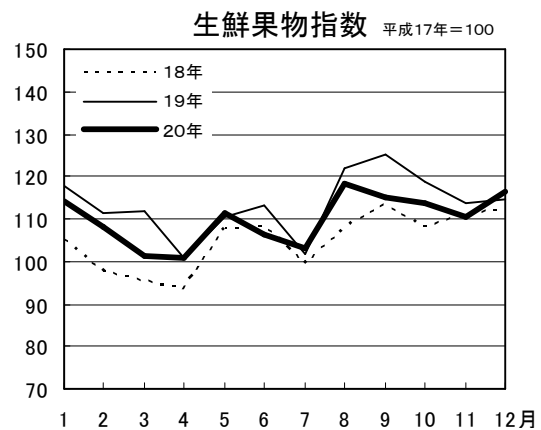
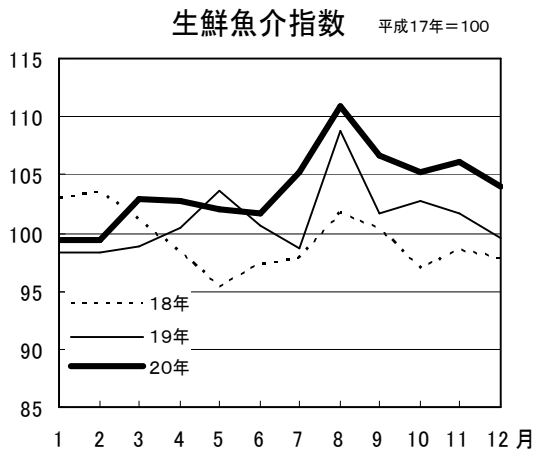
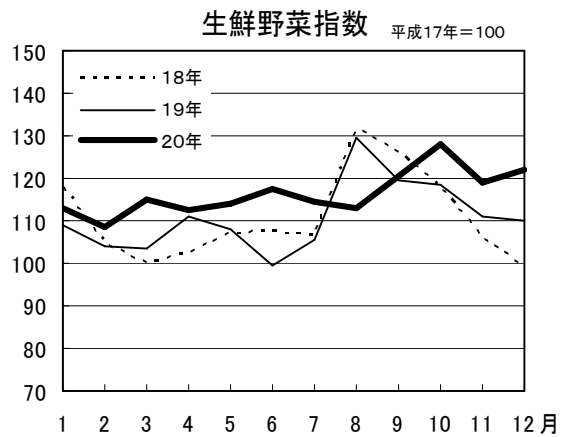
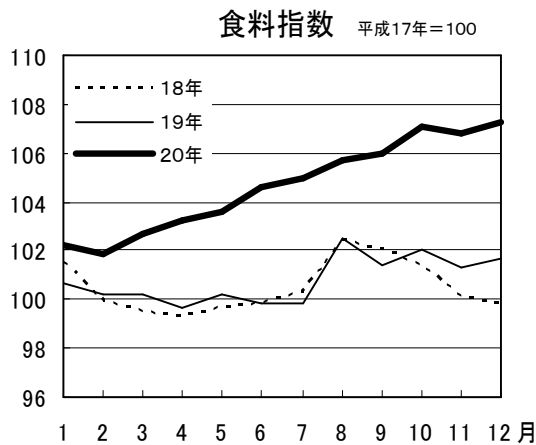


## 費目別指数の動き

### (1) 食料

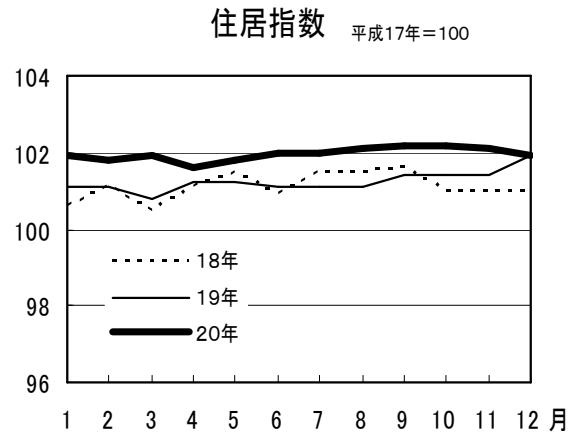
年平均指数は104.7となり、前年に比べ3.9%の上昇となった。生鮮食品についてみると、生鮮魚介が2.8%の上昇、生鮮野菜が5.1%の上昇したが、生鮮果物が3.1%の下落となり、生鮮食品全体では2.7%の上昇となった。

生鮮食品以外では、穀類は9.4%の上昇、肉類は1.7%の上昇、乳卵類は4.1%の上昇、油脂・調味料は4.1%の上昇、菓子類は8.2%の上昇、調理食品は2.6%の上昇、飲料は0.7%の上昇、外食は3.4%の上昇となった。一方、酒類は0.4%の下落となった。



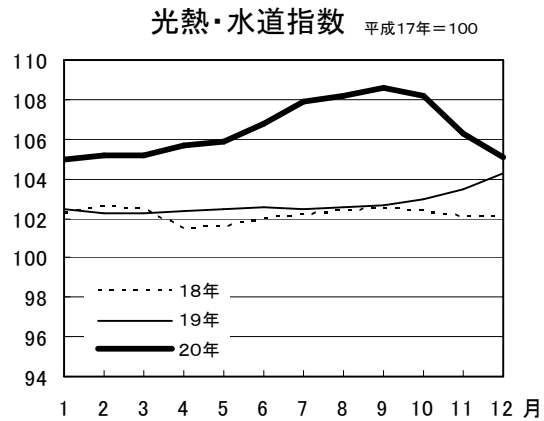
## (2)住居

年平均指数は102.0となり、前年に比べ0.8%の上昇となった。内訳をみると、家賃は0.6%の上昇、設備修繕・維持は1.9%の上昇となり、いずれも上昇となった。



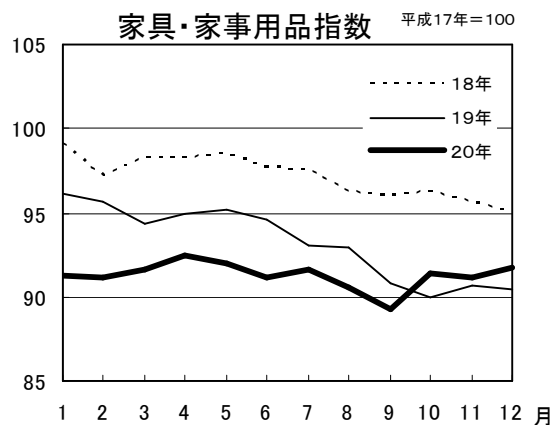
## (3)光熱・水道

年平均指数は106.5となり、前年に比べ3.6%の上昇となった。内訳をみると、電気代は2.0%の上昇、ガス代は4.0%の上昇、他の光熱は27.7%の上昇となった。なお、上下水道料は前年と同水準となった。



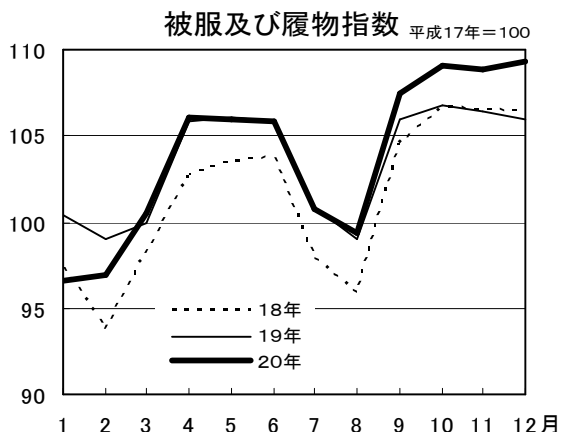
## (4)家具・家事用品

年平均指数は91.3となり、前年に比べ2.0%の下落となった。内訳をみると、家庭用耐久財は12.1%の下落、家事サービスは0.3%の下落となった。一方、室内装備品は2.6%の上昇、寝具類は4.8%の上昇、家事雑貨は1.6%の上昇、家事用消耗品は1.0%の上昇となった。



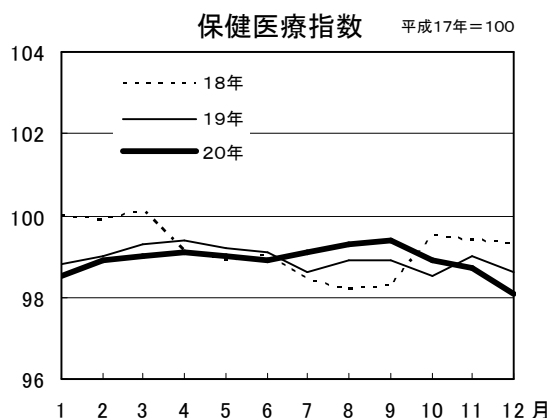
### (5) 被服及び履物

年平均指数は103.9となり、前年に比べ0.4%の上昇となった。内訳をみると、衣料は1.8%の上昇、履物類は1.0%の上昇、被服関連サービスは0.3%の上昇となった。一方、シャツ・セーター・下着類は1.0%の下落、他の被服類は3.6%の下落となった。



### (6) 保健医療

年平均指数は98.9となり、前年と同水準となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は0.7%の上昇、保健医療サービスは0.3%の上昇となった。一方、保健医療用品・器具は2.6%の下落となった。



### (7) 交通・通信

年平均指数は102.0となり、前年に比べ1.9%の上昇となった。内訳をみると、交通は2.1%の上昇、自動車等関係費は2.9%の上昇となった。一方、通信は0.2%の下落となった。

